

# 第2回定例町議会

平成24年6月19日に「第2回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

## 一般質問

### 漁業に対する 独自施策の実現求める

工藤 勇 議員



具体的な支援策を講じなければ後継者も育たないことから、地域経済にあたる影響も大きい。

採算のとれる漁業として

漁業は町の基幹産業であり、自治体として独自の施

策が必要であり、協業化などによる漁獲最低保障を制度化するなどの支援策を講ずる考えがありますか。

奥尻港湾の漁船



補償制度が近く承認の見通しで町独自策は考えていない

新村 卓実 町長

答弁

後継者育成の点ですけれども、奥尻町の未来を開く担い手育成事業の拡充について、助成の種類や進捗の実態からみましても、再構築する考えは現在のところもっていません。

協業化と漁獲最低保障の制度化ですが、国の漁業所得補償制度の導入に向けてひやま漁協においてすすめており、本年度中に国の承認がされる見通しであることから、町としての特別な支援策は現在考えていません。

# 国保改正による

# 認識と町への影響は



制野 征男 議員

新村 卓実 町長

国保財政への  
影響を  
懸念している

の役割と社会保障としての役割を踏まえた対応について、町村会を通じて政府に求める意思はあるのか伺う。

この事業は、保険者の保険料の標準化、財政運営の安定化を図るため、保険者からの拠出金を基に各都道

4月に法案の成立した国民健康保険法改正は国保の都道府県単位化を実行する内容となっている。  
指摘すべきは、「保険財政共同安定化事業」の恒久化と、事業の対象が全ての医療費に拡大されたこと、国庫負担の削減、住民負担の増加、国保税収納率の向上に向けた都道府県の指導が強化されてくると思える。  
この措置に対する認識と町への影響、また国保本来



▲奥尻町国民健康保険病院

宮津から勘太浜の集落にいたるまでの間には、極めて大きなコンクリートフレーム工法による崩落防止工事が行われている。  
しかし、奥尻島は道立自然公園でもあり、コンクリートがむき出しになっていることは景観上好ましくなく、緑に囲まれた島にはそ

ぐわなないと感じる。  
崩落防止の工事による工法として活用するなどということではなく、その後の措置としての緑化について放置していることに問題があると思うが、町としても葛（くず）・蔦（つた）類による緑化等について検討研究し、道に強く要請する意思はあるかお聞きしたい。

## コンクリートフレーム

## 工法の緑化の要請を

制野 征男 議員

府県の国保連合会が実施主体となって交付金を交付するもの。  
今回の法改正で恒久化されることには異論はないが、対象医療費が拡大されることによる本町国保財政への影響を懸念している。  
本町としては他町と連携を図りながら管内町村会で協議し、全体的な保険者の財政負担緩和等必要に応じて道や政府に要望していきたい。